

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

【ほのぼのプレ】
2019年12月現在

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	②	職員の配置数は適切であるか	○			* スタッフ配置人数を3~4名体制で行なっている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			* 車椅子のまま活動に参加出来るようになっております。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル (目標設定と振り返り) に、広く職員が参画しているか	○			* 毎月、研修やケアカンファを行いスタッフ全員と情報を共有している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			頂いたご意見については真摯に受け止め、出来ることは対応して参りたいと考えています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			* ホームページで公開
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			* 社内研修/外部研修の実施 (社内研修月1回) (社外研修有)
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			日々の活動から得られる情報と保護者様との面談及び支援者会議等で得られた情報を基に、将来を見据えた支援になるよう計画しております。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			ビジョントレーニングの検査は実施しておりますが、他の検査は実施しておりませんので、検査結果等は参考にさせていただいております。
適切な支援の提供	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			* 2ヶ月に1回プログラム会議を実施
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			* 2ヶ月に1回プログラム会議を実施
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			* 土曜日・長期休暇等の際はお弁当持参のうえ口腔ケアを実施
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			活動がバランスよく行えるように日単位、週単位、月単位で考えながらプログラムを検討していますが、基本幼児期~児童期のお子さん向けになっている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			* 毎日昼食後シェアカンファを行なっています
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			* 送迎後振り返りを行なっています
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日報・活動の記録は必ず記載するようになっております。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			基本年に1~2回でモニタリングを行ない、緊急性がある場合は家庭訪問等を実施し修正や見直しを行うよう努めています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達支援管理責任者が出席させていただいております。

関係機関や保者との連携関係や保護との連携	⑳	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生の連絡）を適切に行っているか	○			親御様を通じ、学校の行事等の予定は把握させて頂いています。また緊急性がある場合は直接学校等へ連絡させていただく場合があります。その際、相談室経由になる場合もあります。
	㉑	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	* 重度のお子様も対応させて頂いておりますが、医療的ケアが必要な児童はお受けできません。
	㉒	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	保護者様の意向にもよりますが、未就学や一年生のお子様に関して、情報共有を致します。
	㉓	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	* 障がい福祉サービス事業所から情報提示のお話があれば対応いたしますが、こちらか情報提示を行なうことはありません。
	㉔	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修会に参加しております
	㉕	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	保護者様の意向もあり、活動は行っておりませんでした。
	㉖	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			代表が札幌市自立支援協議会西区部会構成員です。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			面談や連絡帳により情報交換に努めています。また送迎時にもその日にあった出来事を報告させて頂き、情報は保管し、職員間でもシェアさせて頂いております
保護者への連携	㉘	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			ご相談頂いた件に関し助言させて頂いたり、家庭訪問をして相談にのることはありましたが、積極的に行っておりません * ほのぼの学ぼう会を実施。その中でCSP(コモンセンスペアレンティング)を伝えています
	㉙	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時の際に説明させて頂いております
	㉚	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			ご相談いただいた案件に関しては、真摯に対応させて頂き、場合によっては来社又は家庭訪問を対応させて頂いております
	㉛	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			ほのぼの学ぼう会を実施。参加出来る保護者様は参加されております